

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成26年8月7日(2014.8.7)

【公開番号】特開2013-70937(P2013-70937A)  
 【公開日】平成25年4月22日(2013.4.22)  
 【年通号数】公開・登録公報2013-019  
 【出願番号】特願2011-214185(P2011-214185)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 C

【手続補正書】  
 【提出日】平成26年6月19日(2014.6.19)  
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

遊技機の外側表面に取り付けられる装飾用外装部品であって、  
外側装飾部材と、前記外側装飾部材の内部に装着される内側装飾部材とを備え、  
前記外側装飾部材は、内部に装着された前記内側装飾部材の表面一部を外部に露出させ  
る開口部と、前記内側装飾部材が装着される内面両側に形成され、前記内側装飾部材が装  
入される側に先端部が向いた鉤状の複数の係止部とを有し、  
前記内側装飾部材は、前記外側装飾部材の前記係止部に対応する位置に形成された複数  
の被係止部を有し、  
前記係止部が前記被係止部の開口に挿入されて前記被係止部と係合することにより、前  
記係止部が形成された前記外側装飾部材の内面と前記被係止部が形成された前記内側装飾  
部材の外面とが互いに離れないように規制された状態において、前記内側装飾部材が前記  
外側装飾部材に装着されることを特徴とする装飾用外装部品。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 6  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 0 6】

前述の装飾用外装部品を二つの部品を組み合わせ形成した場合に、二つの部品の間の  
隙間を押し拡げて、その隙間から針金状の器具等を押すことによる不正行為が行われ  
るおそれがある。

【手続補正 3】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 7  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 0 7】

本発明は、このような問題を解決するためになされたものであり、装飾用外装部品を形  
成する二つの部品の間の隙間を押し拡げて、その隙間から針金状の器具等を押すこと

による不正行為の防止を図ることができる装飾用外装部材を提供することを目的とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

（請求項1）

（特徴点）

請求項1記載の発明は、次の点を特徴とする。

すなわち、請求項1に記載された発明は、遊技機の外側表面に取り付けられる装飾用外装部品であって、外側装飾部材と、前記外側装飾部材の内部に装着される内側装飾部材とを備え、前記外側装飾部材は、内部に装着された前記内側装飾部材の表面一部を外部に露出させる開口部と、前記内側装飾部材が装着される内面両側に形成され、前記内側装飾部材が装入される側に先端部が向いた鉤状の複数の係止部とを有し、前記内側装飾部材は、前記外側装飾部材の前記係止部に対応する位置に形成された複数の被係止部を有し、前記係止部が前記被係止部の開口に挿入されて前記被係止部と係合することにより、前記係止部が形成された前記外側装飾部材の内面と前記被係止部が形成された前記内側装飾部材の外面とが互いに離れないように規制された状態において、前記内側装飾部材が前記外側装飾部材に装着されることを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

（請求項1の効果）

以上のように構成されている本発明は、以下に記載されるような効果を奏する。

すなわち、請求項1記載の発明によれば、外側装飾部材の係止部が内側装飾部材の被係止部の開口に挿入されて被係止部と係合することにより、係止部が形成された外側装飾部材の内面と被係止部が形成された内側装飾部材の外面とが互いに離れないように規制された状態において、内側装飾部材が外側装飾部材に装着される構成である。そのため、外側装飾部材と内側装飾部材の隙間に針金状の器具を押し込むことができる程度に、当該隙間を拡げることを不可能にすることができ、これにより、当該隙間を通じて針金状の器具を装飾用外装部品の内部に押し込むことが困難となり、針金状の器具による不正行為の防止を図ることができる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】